

市内の放射線量測定結果をお知らせします

東日本大震災による東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を踏まえて、市民の安全性を確保するため放射線量の測定を実施しました。測定の結果、調査項目のすべてで安全であることが確認されました。

■広域エリア調査結果 固総務課 ☎⑤ 6703

青森県が実施した空間放射線量率調査結果です。自然環境における放射線レベルの範囲内で、異常は認められませんでした。

測定場所 若葉公園 (西二十二番町)
 測定日 7月12日
 測定方法 地上1mの高さの空間放射線量率の測定
 測定値 24nGy/h (ナノグレイ/時)

■積算線量測定結果 固生活環境課 ☎⑤ 6726

市役所敷地内に設置された、モニタリングポストで測定された結果です。
 第4四半期の測定中に震災が発生しましたが、測定結果は過去と同程度でした。

平成22年度 (μGy/91日)			
第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)
99.7±2.2	104±2.8	112±2.3	102±1.3

■堆肥の放射性物質モニタリング調査結果 固農業政策課 ☎⑤ 6741

十和田市が実施した堆肥の放射性物質検査結果です。放射性ヨウ素131、放射性セシウム134および137は、調査したすべての検体から検出されませんでした。

採取日 8月2日

採取場所	
大字深持字森	大字洞内字長久根
大字法量字滝ノ沢	大字切田字印
大字奥瀬字北向	大字米田字二沢頭
大字沢田字水尻山	大字洞内字向
大字相坂字長漕	大字八斗沢字家ノ下

■用語の解説

- ▶ μGy (マイクログレイ) 空中放射線量を表す単位
- ▶ nGy (ナノグレイ) 1μGyの100万分の1
- ▶ Bq (ベクレル) 放射性物質が放射線を出す能力を表す単位



掲載した内容は、調査結果の一部です。詳しくは市ホームページにも掲載しています。

■十和田市における農林水産物のモニタリング調査結果 固農業政策課 ☎⑤ 6741

青森県が実施した農林水産物のモニタリング調査結果です。放射性ヨウ素131、放射性セシウム134および137は検出されませんでした。

測定日	試料名	採取日	検査結果	
			放射性ヨウ素131 (Bq/kg)	放射性セシウム134と137の合計 (Bq/kg)
8月2日	ねぎ	8月1日	検出されず	検出されず
8月4日	大根	8月3日	—※	検出されず
8月11日	にんにく	8月9日	検出されず	検出されず
8月18日	水稻 (稲体)	8月17日	検出されず	検出されず

- ▶ 定量下限は、ヨウ素131が20Bq/Kg、セシウム134が25Bq/Kg、セシウム137が20Bq/Kg
- ▶ ※は暫定規制値が設定されていないため「—」と表示。測定ではいずれも検出されていません。

■十和田市における畜産農家への稲わらなどの流通・使用に関する調査結果 固畜産農地課 ☎⑤ 6745

青森県が実施した調査結果です。放射性ヨウ素131はいずれも検出されませんでした。セシウムは2カ所から検出されましたが、国が定めた牧草などの放射性物質の暫定許容値以下で、安全が確認されました。

- ▶ 使用状況調査
 県外からの稲わら搬入戸数 0戸
 春わら収集戸数 16戸
- ▶ 放射線セシウムに係る分析結果
 調査戸数 8戸 ▶ 採取日 7月25・26日
 測定日 7月27・28日

採取場所	放射性セシウム134と137の合計 (Bq/kg)	
	測定値	換算値 (※)
A	検出されず	検出されず
B	検出されず	検出されず
C	検出されず	検出されず
D	検出されず	検出されず
E	検出されず	検出されず
F	32.8	7.5
G	37.9	8.6
H	検出されず	検出されず

換算値 水分含量80%として設定されている粗飼料の暫定許容値と比較するため、稲わらの水分含量を12.2%として補正した値

■水道水の放射性物質調査結果 固水道課 ☎⑤ 4517

十和田市が実施した水道水の放射性物質検査の結果、放射性ヨウ素131、放射性セシウム134および137は検出されませんでした。

採取日	採取項目	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
		ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
8月9日	芳川原浄水場 (原水)	検出されず	検出されず	検出されず
	塚ノ下配水場 (浄水)	検出されず	検出されず	検出されず

※原水とは、塩素殺菌などの浄水処理を行う前の水で、浄水とは水道水 (飲料水) のことです。